

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	離散数学第一演習		
英文授業科目名	Exercises in Discrete Mathematics I		
開講年度	2009年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	石上 嘉康		
居室	西1-415		

公開E-Mail	授業関連Webページ
yoshiyas at-mark ice.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
「離散数学第一」の講義内容をより深く理解し、その知識を種々の問題に応用できるようにすることを目標とする。

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
「離散数学第一」に同じ。

【授業内容とその進め方】
(a) 授業内容： 内容は「離散数学第一」と同じであるので、そのシラバスを参照すること。
(b) 授業の進め方： 履修者が自分で演習問題を解き、レポートを提出する。授業中は随時質問に応ずる。レポートは可能な限り採点して返却するので、それを模範解答と照らし

電気通信大学 平成21年度シラバス

合わせて、理解の度合いをチェックし、不十分な箇所をより確かなものにする。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

レポートないし小テストのための準備と、テスト後の復習が大切です。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

a) 評価方法：

成績評価は、正式レポートの評点、出席状況、「離散数学第一」の成績等に基づいて行う。

(b) 評価基準：

「集合と写像」、「論理」、「数学的帰納法」、「同値関係」、
「順序関係」などの基本概念を理解していることをもって合格基準とする。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メールなどで事前にアポイントを取ること。固定したオフィスアワーを設ける場合には授業の初回に告げる。

【学生へのメッセージ】

「離散数学第一」の講義を理解し、それを自分のものとして応用できるようになるためには、できるだけ多くの演習問題を解くことが望ましい。
また、それにより数学に対する興味も深まる。演習の時間を十分に活用し、基礎力の向上につとめて欲しい。

【その他】

なし。